

舞台機構設備点検調整報告書

施設名称： 丹波の森公苑ホール

点検会社：

担当者：

施工日： 令和 7 年 3 月 18 日
～ 3 月 19 日 (2日間)

吊物装置

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換奨励 D：使用停止

No.	名 称	仕 様	結 果	点検調整事項及び備考
1	プロセニウムライト	電動ドラム巻取式	B	ワイヤー付着塗料清掃
2	プロセニウムパトン	電動ドラム巻取式	B	
3	パトン1	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
	一文字幕1	共吊式	A	
4	オペラカーテン	固定吊、電動ドラム巻取式	B	
5	定式幕	手引式	A	
6	暗転幕	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
7	袖幕1	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
8	ボーダーライト	電動昇降トラクション式	B	
	一文字幕2	共吊式	A	
9	サスペンションライト1	電動昇降トラクション式	B	
10	パトン2	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
11	一文字幕3	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
12	引割幕1	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
13	スクリーン枠	電動昇降トラクション式	C	※1 スクリーン幕地裂け
14	袖カットマスク	電動開閉式	B	
15	袖幕2	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
16	サスペンションライト2	電動昇降トラクション式	B	
17	パトン3	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
18	パトン4	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
19	一文字幕4	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
20	引割幕2	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
21	パトン5	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
22	パトン6	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
23	サスペンションライト3	電動昇降トラクション式	B	
24	袖幕3	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
25	ホリゾントライト	電動昇降トラクション式	B	
	一文字幕5	共吊式	A	
26	パトン7	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
27	パトン8	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
28	パトン9	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
29	バック幕	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整
30	ホリゾン幕	手動昇降C/Wバランス式	A	引網調整

反射板装置

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換奨励 D：使用停止

No.	名 称	仕 様	結 果	点検調整事項及び備考
1	天井反射板（昇降）	電動昇降トラクション式	B	
	天井反射板（変角）	電動ドラム巻取式	B	
2	正面反射板	電動昇降トラクション式	B	※ 2
3	側面反射板 上手	電動ドラム巻取式	B	※ 2
4	側面反射板 下手	電動ドラム巻取式	B	※ 2

昇降床装置

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換奨励 D：使用停止

No.	名 称	仕 様	結 果	点検調整事項及び備考
1	小 迫 り	スクリュウ式	A	
2	落下防止板	チェーン式	A	
3	昇降手摺	連 動 式	A	

操作・制御盤

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換奨励 D：使用停止

機 器 名 称	仕 様	結 果	点検調整事項及び備考
舞台機構操作盤	壁掛け型	A	
吊物機構制御盤	自立型	A	
床機構制御盤	自立型	A	

点検申し送り事項

今回は、 総合点検 を実施しました。

※ 1 スクリーン幕地に裏地からの剥離が見られます。

経年劣化により生地が硬化し、寒暖による裏地との伸縮差で破損したと思われます。

※ 2 表面仕上げ材に経年による剥がれ有り

電気性能及びワイヤーロープ径測定を行いました。

その他点検時、装置に異常は見られませんでした。

電動 吊物設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

電動 吊物設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

手動昇降 吊物設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

2

〔結果〕 A：良好

B: 要注意

C：交換獎勵

D：使用停止

[illegible]

手動昇降 吊物設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

反射板設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

昇降床設備

〔結果〕 A：良好 B：要注意 C：交換獎勵 D：使用停止

[illegible]

ワイヤーロープ径 測定報告書

判定基準

A B C

判定基準 = 公称径 > 公称径以下 > 公称径の7%以上の摩耗

A : 良好

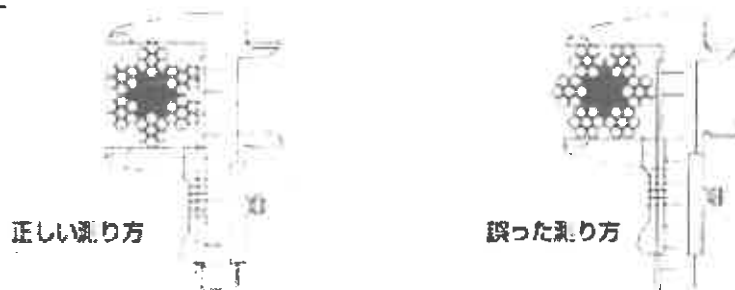
B : 要注意 ※公称径以下及び耐用年数超過で交換推奨

C : 至急交換要す ※公称径の7%以上の摩耗で使用停止

測定方法

1. 吊物上限停止時に測定
2. ドラム及びシーブから約1メートルの箇所を測定
3. 図1の様にワイヤーロープ外接円の直径を測定 ※19*7構成ワイヤー除く
4. 全数を測定し、最低値を計測値とする

図1



測定機器

・新潟精機株式会社 ワイヤーロープ測定ノギス WR-100

電動装置ワイヤーロープ径 測定報告書

測定日

令和7年3月19日

[illegible]

※この表による判定は、ワイヤーロープ径のみを対象としており、耐用年数その他の要因を含みません

手動装置ワイヤーロープ径 測定報告書

測定日 令和7年3月19日

[illegible]

※この表による判定は、ワイヤーロープ径のみを対象としており、耐用年数その他の要因を含みません

吊物装置

[illegible]